

☆ 教師集団による集会指導 ☆

三豊市立河内小学校

目的

○集会担当教員の負担軽減と教師集団のチーム力（生徒指導力）向上を図るねらいから、教師集団が5つの問題場面を想定した集会（寸劇を演技）を行い、子どもたちに身を守るための対応策や正しい行動について少人数学校の特徴を生かしながら集団で考えさせた。

内容

● 教師による4つの場面の擬似体験劇と児童代表グループの遭遇場面から、対応策を考える。

見知らぬ人から声をかけられる4つの場面（A「住所（道）をたずねてくる」、B「お菓子をあげると近づいてくる」、C「写真撮影を要求してくる」、D「（家族が急病だから）車で病院まで乗せてあげよう」と近づいてくる）の不審者対策・緊急避難訓練を6月に行った。本校の4名の教員が変装し、代表の子どもたち（登校班）相手にそれぞれ不審者の役を演じ、実際に不審者と出会った場面をつくった。「どのようにしてこの不審者（危機）から逃げるのか」について、真剣に意見交換したり、話し合ったりした。



集団登校班の上級生の不審者への対応は、下級生へのよき手本となった。スクールガードリーダーより、対応の注意事項として、①「大きい声を出す」 ②「近づいてくるようなら、逃げる（一定の距離＝約5m）まで離れる」 ③「はっきりと断る」 ④「子ども SOS の家へ逃げ込む」 ⑤「特徴（車のナンバー等）を覚えておく」の全体指導があった。その後、「子ども SOS の家」の再確認を登校班ごとに行った。この集会の前週に給食時間帯を活用して、ランチルーム内で「イカのおすし」（不審者対策のマニュアルをわかりやすく説明した歌）の学習効果もうかがえた。しかし、油断は絶対に禁物である。交通安全と同様、つねにお互いに注意し合うことを確認した。この集会の内容について記載した学校便りを保護者・地域全戸に配布し、協力を呼びかけた。

（備考 上記以外の主な集会内容）7月「川やため池・海での遊びについて」 10月「遠足のおやつの買い方」
12月「万引き防止」 2月「お金の不思議 + 人気カード遊びについて；（親子集会）」

成果

○こうした取り組みをすることで、児童の判断力が育ち、危機意識が高まったことが児童の作文よりうかがえた。効果を上げるためのポイントとして、教師の演技を校内研修で練習・検討したこと、警察関係者等から専門的な内容を含んだ講話を取り入れたことが上げられる。季節（時期）に応じた集会の場をもつ度に、教師集団の団結力が増し、子どもたちと交流しながら、「ともに学ぶ」機会となった。